議案第 5 4 号

市川市火災予防条例の一部改正について

市川市火災予防条例の一部を改正する条例を次のように定める。

平成 2 2 年 2 月 2 2 日提出

市川市長 大 久 保 博

市川市条例第 号

市川市火災予防条例の一部を改正する条例

市川市火災予防条例（昭和 3 7 年条例第 1 1 号）の一部を次のように改正する。

第 2 9 条の 3 第 1 項第 2 号中「第 1 3 条の 3 第 1 号」を「第 1 3 条第 1 号」に改める。

第 3 7 条の 2 の次に次の 1 条を加える。

（個室型店舗の避難管理）

第 3 7 条の 3 カラオケボックス、インターネットカフェ、漫画喫茶、テレフォンクラブ、個室ビデオその他これらに類するものの遊興の用に供する個室（これに類する施設を含む。）に設ける外開き戸のうち避難通路に面するものについては、開放した場合において自動的に閉鎖するものとし、避難上有効に管理しなければならない。ただし、避難の際に当該避難通路に面する外開き戸が開放されている場合であっても避難上支障がないと認められるものにあつては、この限りでない。

第 4 2 条中「及び第 3 7 条の 2」を「、第 3 7 条の 2 及び第 3 8 条」に改める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成22年7月1日から施行する。ただし、第29条の3第1項第2号の改正規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際、現に存するカラオケボックス、インターネットカフェ、漫画喫茶、テレフォンクラブ、個室ビデオその他これらに類するもの(以下「個室型店舗」という。)における改正後の第37条の3に規定する外開き戸のうち避難通路に面するもの(以下「外開き戸」という。)又は現に新築、増築、改築、移転、修繕若しくは模様替えの工事中の個室型店舗における外開き戸が同条の規定による基準に適合しないときは、これらの外開き戸については、平成23年3月31日までの間、同条の規定は、適用しない。

理 由

平成20年10月に大阪市の個室ビデオ店で発生した火災において逃げ遅れた多数の客が死傷した大惨事を踏まえ、個室ビデオ店等の個室型店舗における避難通路が適切に確保されるようにするため、必要な基準を定める必要がある。

これが、この条例案を提出する理由である。